

# AkiHO

2024年 春

vol. 61

受付



特集

## 栄養サポートチーム

ご自由におとりください。



## 理事長挨拶



地方独立行政法人  
山形県・酒田市病院機構

理事長 島貫隆夫

「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構」は、平成20年4月に山形県と酒田市により共同設立され、急性期の「日本海総合病院」と回復期を主体とする「日本海酒田リハビリテーション病院」の2つの病院の運営にあたっています。また、平成30年4月に新たに酒田市から移管統合された日本海八幡クリニック及び市内5診療所の運営も行っています。

さらに、同年4月には、当法人が中心となり、医療・介護・

福祉の切れ目のないサービスを将来にわたり地域に安定的に提供することをめざし、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットを設立いたしました。これまでの皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

この度、当機構は令和6年度からの第5期中期計画のスタートにあたり、基本理念の一層の浸透を図るため、患者さんや地域の皆様、職員同士についても相手の視点に立ち、思いやりの心を大切とした、より明確でわ

かりやすい基本理念に改訂を行いました。

さて、医療を取り巻く社会環境は、昨今、目まぐるしく変化しています。庄内地域では人口減少と少子高齢化がより一層進行することにより疾病構造が大きく変化し、様々な複合ニーズを抱えた方々が増加してきています。とくに高齢者の軽度急性増悪に対しては、迅速な対応により早い回復が期待されます。そのためには、医療・介護の情報共有、在宅と救急の連携など、ケアマネジャーなどの情報を地域で共有することが重要となります。症状が悪化する前に医療・介護・福祉等が介入し、地域全体で連携を強化できるようなICTを活用したシステムのリデザインが必要であり、今後は皆様と協力して理想的なシステムを構築できるよう取り組んでまいります。

人口減少と共に地域における新規入院患者数の減少、また高齢化の一環として、開業医の高齢化と減少も深刻化しています。

看護師などの医療従事者の人手不足も課題となっており、今後の持続可能な医療体制を構築するためには、将来を見越した医療従事者の確保や医療提供体制の計画的な整備が急務だと考えます。専門的な急性期医療の集約化や地域医療災害への備えも重要であり、これまでの感染症対応を通じて得た経験から、地域全体での連携・情報共有が不可欠と言えます。

これらの課題への対応には、医療DXの推進が欠かせません。これからも医療を取り巻く環境変化を的確に捉え、思いやりの心を大切に、患者さんとその家族、そして医療・介護・福祉関係者の皆様との信頼関係を深め、共に支え合いながら、より良い医療サービスを提供してまいります。

基本理念のもと、職員一丸となつて力を尽くしてまいりますので、今後ともご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

# 基本理念の改訂について

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構は、2008年の設立以降、変化する社会環境に柔軟に対応しながら、事業に取り組んでまいりました。2024年度からの第5期中期計画のスタートにあたり、基本理念の一層の浸透を図るため、現在の基本理念の思いを受け継ぎながら、より明確でわかりやすい基本理念に改訂します。

## 旧 基本理念

1. 安心、信頼、高度な医療提供 2. 保健、医療、福祉の地域連携 3. 地域に貢献する病院経営

## 新 基本理念

思いやりの心を大切にします。

質の向上に努め、安全な医療を提供します。

地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。

持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。

## 新 基本理念について

これまでの3つの基本理念の表現を見直し、新たに基本理念の根幹にある『思いやりの心を大切にします。』という言葉を追加しました。

患者さんや地域の方々、職員同士についても、相手の視点に立ち、思いやりや配慮の心を大切にする病院機構の姿勢を明確に示しています。

### 思いやりの心を大切にします。

人のあたたかさと思いやりの心を持ち、患者さん・患者さんご家族・地域の方々・職員・職員ご家族とのつながりを深めていきます。

### 質の向上に努め、安全な医療を提供します。

医療の安全性や信頼性を重視し、地域の方々の安心を支え、より一層の医療の質の向上と高度な医療提供を目指します。

### 地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。

地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上に向けた取り組みをより明確に推進します。

### 持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。

経営的な側面においても、持続可能な取り組みを行い、地域への貢献をより効果的に実現します。

# 栄養サポートチーム

日本海総合病院は、2004年4月に、  
NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム) の  
発足以降、栄養管理の質を高める取り組みを行い、  
今年で20年目を迎えます。

当院は日本臨床栄養代謝学会NST専門療法士認定規定による  
認定教育施設としても活動しております。

## NSTとは？

栄養管理は疾患に関わらず、  
医療の根幹であるとされます。  
栄養状態が低下すると、病気の  
治癒や回復の妨げになるからで  
す。実際に入院患者さんは栄養  
状態に問題がある方が多く、ま  
たそれが悪化することも稀では  
ありません。栄養管理を行うこ  
とによってより早期に病状が回  
復することが期待されますが、  
いろいろな病気や背景があるた  
め適切に対応するには幅広い知  
識や経験が必要になります。こ  
のためNSTとして、患者さん  
に対し多職種が連携し、最適な



栄養方法（経口栄養、経腸栄養、  
経静脈栄養）をチーム医療とし  
て提案することが重要と考えて  
います。介入件数は年間100



外科 NST委員長  
中西 渉 先生

## 当院の

### NSTのメンバー

医師、看護師、薬剤師、管理  
栄養士、臨床検査技師、診療放  
射線技師、作業療法士、言語聴  
覚士、歯科衛生士、事務職員で  
構成されています。各職種がそ  
れぞれの専門知識を活かして、  
患者さんの治療や回復をサポ  
ートしています。2024年1月  
の時点では当院NSTメンバー  
は医師10名、歯科医師1名、看  
護師17名、薬剤師1名、管理栄  
養士13名で活動しています。

## NST活動内容

NSTの活動内容として、主  
に入院中の患者さんに対して栄

人程度となっております。介入  
する診療科は外科が最も多く  
なっていますが、形成外科、呼  
吸器内科、消化器内科、脳神経  
外科と続いており病院全体の栄  
養管理を支えています。



養管理を行っています。



週一度のカンファレンスでNSTの担当患者さんについて病状評価と経過、方針についてチームで検討を行います。その後病棟回診を行い、実際に患者さんを診察しながら病状や栄養状態を確認し、栄養管理法の提言や実施を行います。栄養管理や評価方法は日々進歩しています。NST内でも勉強会を行い、栄養に関する最新の知識や情報を学び、スキルアップを行っています。また院内外の関係者とも最新の情報を共有・啓発を行

うために、NSTの活動報告や栄養に関するトピックスを発信しています。

NSTは院内だけでなく、地域とも連携しています。地域の医療機関とは、患者さんの栄養管理に関する情報の提供や相談を行い、円滑な引き継ぎやフォローアップを行います。また、各種学会にも積極的に参加し、NSTの取り組みを発表し、他施設との交流や情報共有を行います。



NSTカンファレンスの様子

## 患者さんへ

様々な病気の患者さんに手術を受けていただいています。手術が決まった後、外来から麻酔・手術、術後回復、さらに退院し社会復帰までの一連の期間を周術期と呼んでいます。そのすべての期間において栄養状態を維持することが重要と考えています。

大きな手術であればあるほど、術前からの栄養管理やリハビリが重要です。術前から様々な提案やお願いをしております。すべては手術を含めた治療をより安全に受けていただくための取り組みです。是非、患者さんも当事者として一緒に取り組んでいただきたいと思います。

また近年ではがん患者さんに対して、手術前や手術後に予定して抗がん剤による治療を行うことも稀ではありません。標準的な治療であっても治療に要する期間自体が長くなっています。このため安定して治療を受けていただくためには、より長期間にわたって栄養状態を維持することが重要であると考え、取り組んでいます。

私共も患者さんと重要性を共有できるようにより一層取り組んでまいります。

日本海総合病院のNSTは、  
これからも患者さんにあった最良の方法で栄養支援を行ってまいります。  
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

# 栄養管理室

栄養管理室 管理栄養士  
栄養サポートチーム専門療法士

高橋 智美

栄養を摂ることは生きていく上で欠かせない行動であり、病気の治療を順調に進めていく上でも重要です。病院で働く管理栄養士は、入院中はもちろん、入院前から退院後に至るまで、あらゆるタイミングで患者さんとの関わりを持っています。

## 入院前

### ●入院支援センター

#### 食事についての情報収集

入院が決まったら、入院支援センターで患者さんやご家族と面談を行い、食物アレルギー、食欲不振の有無や食事内容、飲み込みや歯の状態などをお伺いしています。聞きとり内容をもとに入院時に食事調整を行



う準備をします。あらかじめ入院前にお話を伺うことで、入院後にスムーズな栄養管理が可能となります。

## 入院中

### ●栄養管理計画の作成

患者さんが入院したら、一人一人の病気や治療内容、年齢・体格、栄養状態に合わせて、エネルギー量などの目標栄養量を算出しています。

### ●病院食

当院の管理栄養士が献立を考えています。栄養価やバランスはもちろん、おいしく食べていただき日々の入院生活の楽しみとなるようなメニュー作りを心がけています。食事の種類により週3日、2種類のメニューから選ぶことができる選択メ



ニューを行っています。行事食として酒田祭り献立、寒鰯汁など季節ごとの郷土料理を取り入れるようにしています。

管理栄養士や医師、看護師による検食を毎日行い、見た目や味付け、衛生面などの確認をしています。

### 提供食数

1食あたり400食程度

### 病院食の種類

病院食には特別な制限のない「<sup>※1</sup>一般治療食」と、病気や身体の状態に応じて医師の指示のもとに提供する「<sup>※2</sup>特別治療食」があります。

※1「一般治療食」成人食、軟菜食、5分粥食、重湯食、妊産婦食、学童食、幼児食、離乳食、嚥下訓練食など

※2「特別治療食」エネルギーコントロール食、脂質コントロール食、塩分コントロール食、たんぱく質コントロール食、消化管術後食、易消化食など

### ●ベッドサイド訪問

ベッドサイドに訪問してお話を伺い、病気や治療の影響で食欲がない患者さんに対しては、患者さんや看護師とともに



食べやすい食事内容を検討し個別に献立の調整をしています。

### ●経管栄養や点滴での

#### 栄養管理の提案

胃瘻や経鼻胃管からの経管栄養、点滴での静脈栄養の栄養量や内容についても、薬剤師や看護師と相談しながら主治医へ提案を行っています。

## 退院時

### ●入院栄養食事指導

治療に際して食事療法が必要な場合は、主治医の指示のもとに栄養指導を行います。食事準備を行うご家族にも同席いただいています。

## 退院後

### ●外来栄養食事指導

退院後の食事療法の実践状況を伺い、疑問点や実践が難しい点について患者さんやご家族と一緒に考え、食事療法を長く継続できるようサポートします。



病院X(旧Twitter)では病院食の献立を紹介しています。ぜひご覧ください。



のぞいてみよう

# 病院食ができるまで

日ごろ、患者さんから「病院食はどこで作っているの?どこから運ばれてくるの?」と質問をいただくことがあります。病院食は院内の厨房で作られています。今回はその現場をご紹介します。



## ① 身支度・手洗い

調理に入る前は、しっかり身支度を整え、料理に異物が混入しないよう衣服のローラーがけを行いホコリや髪の毛を厨房に持ち込まないようにします。



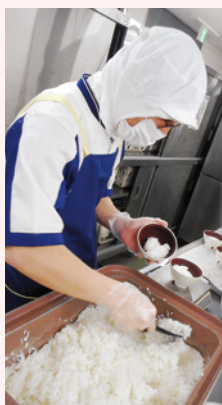
## ② 下処理

食材の洗浄、皮むき、カットなどを行います。たくさんの野菜!



## ③ 調理

大きな釜で加熱していきます。



## ④ 炊飯

ご飯・お粥は毎食炊きたてを提供しています。



## ⑤ 配膳

料理の配り間違いがないか一皿ずつ確認していきます。特に食物アレルギーのある患者さんのお膳には注意を配り、調理師と栄養士で二重にチェックを行います。



## ⑥ 病棟へ

温かい料理は温かいまま、冷たい料理は冷たいまま保つことのできる「温冷配膳車」で病棟までお届けします。



## ⑦ 到着

患者さんのもとへ

## 医師異動 (令和6年1月)

転入者 日本海総合病院



外科 副医長

森田 隆之

前任地 東北大学病院

趣味・特技 んいぐるみ集め

転出者 日本海総合病院

循環器内科 長島 義宜 鶴岡市立荘内病院

外科 小林 千紗 東北大学病院

臨床研修医募集サイト  
リニューアル臨床研修医  
募集情報は  
こちら

## 編集後記

いつも広報誌あきほを手に  
取っていただきありがとうございます。  
います。

この度、第5期中期計画のスタートに伴い、広報誌あきほのデザインを一新し、今までひらがなで「あきほ」と表記されていた表紙の文字を「AKIHO」へと変えました。

「i」のみを小文字にした理由は、当院から発信する小さな愛(i)を地域のみなさんに届きたい、皆さんから受け取ってもらえる広報誌にしたいという思いが込められています。小さな愛がどんどん広がって、地域全体が笑顔になり、大きな愛へと繋がってほしいと思います。

こんな特集を読んでもたいなどのご意見やご感想も、皆さまからの愛です。ご希望などがありましたら、下記までご連絡ください。今後も地域のニーズに応えられるわかりやすい広報誌をめざしていきます。

地方独立行政法人  
山形県・酒田市病院機構

## &lt; 基本理念 &gt;

思いやりの心を大切にします。

質の向上に努め、安全な医療を提供します。

地域との連携を促進し、住民の健康と福祉の向上を目指します。

持続可能な病院経営を通して、地域に貢献します。

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

☎ 0234-26-2001 (代表)

日本海総合病院 経営企画課広報誌担当まで

日本海総合病院では広報誌以外にも情報発信を行っています！

f 臨床研修Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kensyu

f 看護部Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kango

X 日本海総合病院 X (旧Twitter) 公式アカウント

@nihonkai\_hosp